プログラムの運用状況と成績



- ●東京都立中部総合精神 保健福祉センター (世田谷区、H22.3~)
- ●京都府薬務課・京都ダ ルク (京都市、H23.8~)

都立中部総合精神保健福祉センターの場合

- ファシリテーター: 常勤職員4名、回復者スタッフ2名
- 実施頻度:週1回(金曜日午後)、全16回セッション
- リクルート:フライヤー、ホームページ、シンポジウム
- 効果測定:自記式質問票

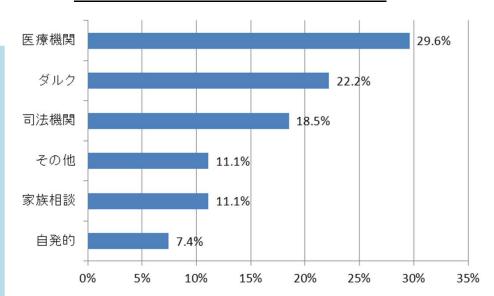
(開始前、終了時、フォローアップ2回)

http://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/open/

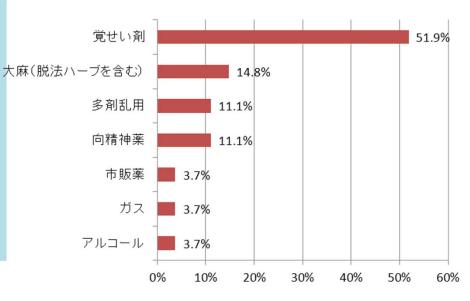
プログラムにつながった経路

参加者プロフィール(n=27)

- 女性40.7%
- 平均年齢27.1歳(19-36 歳)
- 最終学歴:高校卒業以上70.4%
- 住まい:親と同居40.7%, 一人暮らし33.3%
- 就労者:63.0%
- 生活保護受給者:29.6%
- 精神科治療歴あり:70.4%
- 自助グループ歴あり:51.9%
- ●逮捕歴あり:55.6%



主たる使用薬物



嶋根卓也:若年薬物乱用者向け認知行動療法プログラムの開発と効果に関する研究. 平成23年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)「薬物依存症に対する認知行動 療法プログラムの開発と効果に関する研究(研究代表者:松本俊彦)」平成23年度総括・分担研究報告書. pp.121-pp.134, 2012.

プログラム開始後90日間のアルコール・薬物使用(n=15)

	断酒・断薬	アルコール使用	薬物使用	不明
30日	88.7%	6.0%	1.1%	4.2%
60日	87.4%	4.3%	1.1%	7.1%
90日	85.6%	4.9%	0.9%	8.5%

プログラム参加90日間の再使用率

- =(使用日数/90)×100
- ※開始90日間に満たない者は除く



嶋根卓也:若年薬物乱用者向け認知行動療法プログラムの開発と効果に関する研究. 平成23年度厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)「薬物依存症に対する認知行動療法プログラムの開発と効果に関する研究(研究代表者:松本俊彦)」平成23年度総括・分担研究報告書. pp.121-pp.134, 2012.